



広報リポーターの突撃取材!



社内研修として21人が現場視察

藤森測量設計は6月16日、岩手・宮城内陸地震の被害から復興した一関市内の国道342号を視察。震災後、測量に挑んだ社員は当時の苦労に思いをはせました。まだ残る地震の爪あと。一日も早い完全復興を切望します。(小倉利之リポーター)

内陸地震に  
思いはせる



作業に駆けつけた地域の皆さん

夏井公民館は6月19日、敷地内の草取りと花苗の植え付けを行いました。参加した55人は約2時間、楽しく作業し、心地よい汗をかいていました。皆さんの協力のおかげで、同公民館は秋まで多くの花で彩られます。(梅沢政隆リポーター)

夏井公民館に  
花いっぱい!

## 祝福温か 笑顔で喜ぶ

沼袋マサさんが100歳

6月20日、沼袋マサさん(山形町)が100歳を迎え、22日に山内隆文市長から長寿祝いが贈呈されました。入所する特別養護老人ホーム愛山荘の職員や、駆けつけた家族からも温かい祝福を受けた沼袋さんは「ありがとうございます」と笑顔浮かべて喜んでいました。

四女の居家野スエさん(川貫)は「今でもわたしたちのことを気づかってくれる母。忙しく働き、元気に育ててくれたことに、本当に感謝します」と、優しい母への思いを語っていました。

贈呈式後は、家族水いらずの時間。娘など4人が沼袋さんを囲み、母の長寿をお祝いしました。



家族に見守られる中、沼袋マサさん(中)に長寿祝いを贈呈



上/歌碑の建立を、美しい歌声で祝った琥珀エコーの皆さん  
右/歌碑を市に寄贈する目録を読み上げる外館代表(左)



## 偉業と心 歌碑で知って

小田観螢歌碑除幕式

久慈管内10基目となる宇部町出身の歌人「小田観螢」の歌碑が福祉の村入口に建立され、6月6日、除幕式が開かれました。

除幕式には、歌碑を建立した小田観螢顕彰会(外館清幸代表)の会員や関係者など、約40人が出席。外館代表や末崎順一副市長など4人が幕を引き、歌碑がお披露目されると出席者から大きな拍手がわき起こりました。コーラスグループ琥珀エコーは、碑に記した山口柿を詠んだ歌「赤きふる郷」と、賛歌を合唱。青空が広がる中、美しい歌声を響かせて歌碑建立を祝いました。

外館代表は「観螢は全国的に有名な歌人です。歌碑に記した優れた歌を通して、観螢の偉業と、歌に込めた心を皆さんに知ってほしいと思います」と願いを込めていました。

小田観螢(1886~1973・享年87歳)は、移住した北海道で教師として働きながら、短歌の世界で活躍。多くの歌と功績を残し、「北海道歌壇育ての親」とも呼ばれています。

## 150万人目に大喜び

やませ土風館

6月15日、やませ土風館(中塚勝則館長)が入館者150万人を達成。150万人目となった東光清さん(秋田県)に、中塚館長から記念品として海産物やお菓子など特産品が贈られました。

東さんは「久慈は景色がいいですね。琥珀博物館にも寄ってみたいと思います」と喜んでいました。



笑顔で記念品を受け取る東さん(左)



バコーン! 楽しみながらも勝負は真剣

## 童心返ってはつらつ

全日本つぎまり野球

第1回全日本つぎまり野球選手権大会(久慈青年会議所主催)は6月6日、旧長内中学校屋外運動場で開かれました。

市内外から参加した16チーム、約200人の選手は、晴天の下、童心に返ってはつらつプレー。試合は珍プレー好プレーの連続で、最後まで大盛り上がりでした。

## 明るいまちに貢献を

街路灯16灯贈呈

6月1日、東北電力(株)久慈営業所(残間健志所長)と(株)ユアテック久慈営業所(東山敏彦所長)から「明るいまちづくりに役立てて」と、LED街路灯16灯が寄贈されました。両社は、地域貢献を目的に昭和43年に寄贈をスタート。これまでに寄贈された街路灯は今回分を含め391灯になります。



左から山内隆文市長、東山所長、残間所長



笑顔で児童と触れ合う半田さん

## 一流に触れ楽しさ実感

元代表がバスケ指導

元日本代表選手の半田圭史さんによるバスケットボール教室は6月4日、夏井小学校で開催。児童は一流の技術に触れ、スポーツの楽しさを実感しました。

半田さんは「失敗してもいいからあきらめないで」と、ドリブルやパスを指導。最後はミニゲームで児童と一緒に汗を流しました。

## やさしく接して認知症

孫による認知症講座

6月1日、大川目小学校4年生18人を対象とした、孫による認知症講座が同校で開かれました。

講師の市の保健師は、認知症を説明し「認知症の人にはやさしく接して」と児童に呼び掛けました。最後は、劇で認知症の方への接し方も練習。児童は早速、丁寧な接し方を実践していました。



認知症役の先生に、笑顔で話し掛ける児童



笹原さんにスズランを手渡す児童

## 小国小が優しさお届け

すずらん訪問

小国小学校(佐藤寛校長・児童11人)は5月28日、すずらん訪問を行い、市内の病院などにスズランと手紙を届けました。

特別養護老人ホームぎんたらす久慈では、市内最高齢109歳の笹原シナさんにもスズランを手渡し。児童と地域の優しさに触れ、笹原さんも喜んでいました。